

平成28年度補正

株式会社 中谷化学工業所

事業計画名

プラスチック成形における品質向上と生産性向上を同時に実現する生産拡大計画

顧客の製品開発に貢献する品質への信頼感 さらなる品質向上と供給ニーズに応える

－事業の背景－

顧客からの**高度化**する要請

昨今のプラスチック製品製造業界において、安価な海外生産が増大する事で、国内の業者間では生存競争が激化しており、競合他社との差別化は急務であった。

当社は差別化できるほどの独自技術は保有していなかったが、基本方針である「きめの細かい製品加工」を常に心がけ、成形品の品質維持・向上に努めていた。

その営業努力による品質が顧客に認められ製品供給を行っていたが、顧客業界において製品の高機能・高級化が進み、当社が供給する製品の品質や供給量に対する要求も高度化ようになったため、さらなる品質と生産率の向上に向けて、本事業による生産拡大計画を実施することとなった。

－事業の成果－

不良率の低減と生産効率の向上

本事業においては新型の射出成型機を導入し、並行して業務体制の改善施策を実施した。

①新型射出成型機による生産性向上

従来の射出成型機は旧型の油圧式であり、作業油の交換や油漏れによる異物混入など、約5～6%の不良発生の要因となっていた。これを新型の電動サーボ式に更新する事で、生産速度そのものが向上し、またメンテナンス所要時間の短縮や稼働コストの低減等、相乗効果により生産性の向上が実現。不良率は目標である約1%程度を達成する事ができた。

②業務体制の改善(コスト削減・人材育成)

機械稼働のコスト(電力・作業油)などの「見える化」を実施し、省エネ活動の指針とした。合わせて、熟練工に頼っていたアナログな機械設定などをデジタル化し、OJTによる後継者への教育で育成のスピードアップを実施。人材的要因によるボトルネックの解消を行い、全体的なコストダウンに繋げることができた。

－株式会社中谷化学工業所の概要－ 地道に磨き続けてきた**技術力**

当社は昭和45年設立以来、基本方針である「きめの細かい製品加工」をモットーに、健全な事業運営に努めている。

独自技術に頼ることなく、基本である「品質」の向上・維持に努め、顧客から要求される品質判断基準より厳しいレベルに設定する事で自社の既存技術を磨いてきた。

その成果もあり、現在では競合他社に比べ明らかに優位性を誇れる品質の成形品供給を行う事ができている。

成形品の品質は顧客からも高い評価を得ており、顧客製品の1次協力工場として認定されたことに加え、顧客製品の試作品製作にも携わっている。

特に当社の「表面仕上げ」においては非常に高評価で、顧客製品のグレードの中でも販売価格が高額な高機能機における外装部品等を担当し、その価格に見合った「高級感」を満たす成形品を供給し続けている。

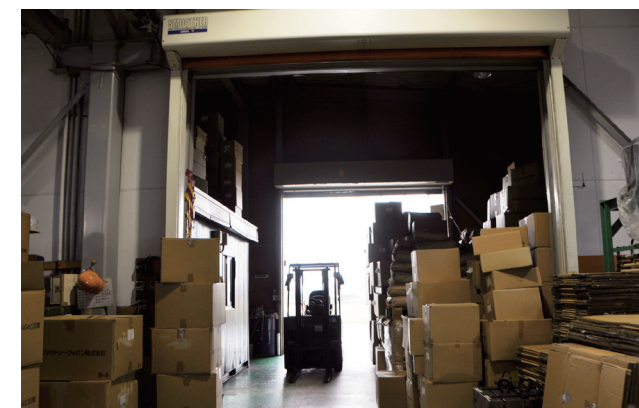


－株式会社中谷化学工業所の展望－ 技術力の維持・向上と**生産力の拡大**

今後も引き続き「きめの細かい製品加工」を心掛け、顧客より要請される品質判断基準を上回る社内基準を定め、技術の向上を目指すことは変わりなく継続していく。

次の目標としては「生産能力の拡大」「新規顧客の開拓」である。現状、従業員をシフト制にして設備を24時間稼働させており、一見すると供給能力の限界も見えつつあるが、当然ながら業務体制のさらなる改善、機械設備の更新により、供給能力向上の余地は十分見込むことができる。

既存顧客ニーズに対応するため、今後も業務体制の改善・設備の更新を計画・実施すると共に、生産体制の拡大も視野に入れ、新規顧客の獲得を目標とする。



株式会社 中谷化学工業所

業種分類 プラスチック製品製造業
事業内容 プラスチック製品製造・加工

代表者名 代表取締役 浅井 典代
所在地 奈良県御所市檜原109
連絡先 TEL：0745-65-1557 / FAX：0745-65-2583
ホームページ 無し
E-MAIL nakatanipla.109@festa.ocn.ne.jp